

10の音(とおのと)がこだまする

当尾の郷会館で行われる「とおのと」の開催が目前に迫ってまいりました！
素敵な展覧会になること間違いないしですので、みなさまぜひ足をお運びください！

展覧会概要

会期: 2020年2月15日(土)～2月29日(土)

時間: 10:00～16:30

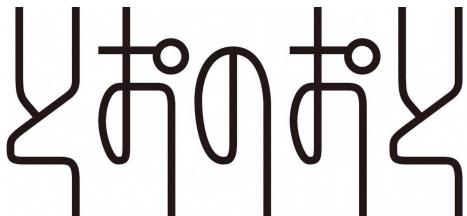
会場: 当尾の郷会館(1F、2F、体育館、プール等)

(※土日祝日は、加茂駅から無料シャトルバスを運行します。)

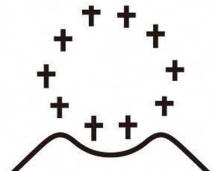
出品作家

伊吹 拓、奥中 章人、加藤 史江、釜本 幸治、林 直、林 真衣、原田 要、冬耳、辺口 芳典、MOYA
ディレクター(展覧会を構成する人)

片山 和彦、窪山 洋子、小林 和華子、東 哲平



ボランティアスタッフを募集しています！



展覧会の受付、体育館での作品を見守っていただくスタッフを募集しています。

作家もできるだけ現場に駆け付けますが、特に平日は勤めている作家も多いため、当尾地域のみなさまのお力を貸していただきますようお願いいたします。

時間は次のとおりとなりますが、少しの時間だけでも結構ですので、ご協力を願います。

《ボランティアスタッフシフト時間》(配置位置は裏面をご覧ください)

【10:00～12:30】【12:30～14:30】【14:30～16:30】

「とおのと」ってなに？どんなことをするの？？

当尾の郷会館において10人(とお)の作家と4人のディレクターが織りなすアート展です。

当尾の郷会館 CREATION PROJECT で会館2階研修室をアトリエとして利用している「冬耳」さんが発起人となり企画されたものです。

個人展示だけでなく、2人展(2人の作家が1つの空間で展示)も行いますので、10人の作家と4人のディレクターによる共鳴に乞うご期待！

オープニングイベントや、期間中の休日には「当尾 oh ! BaaaaaZ」さん等の出店も企画しております。

1/4・18に行われた「煙と鐘」セッションの様子



ひとの音（ひとのかゑ）がこだまします

2020年2月15日(土) — 2月29日(土) 10:00-16:30 会場内無料

京都府木津川市加茂町の山間部に位置する当尾（どおの）地域には、はるかの昔、数多の塔が建立されています。象徴的な塔が連なったその景観が当尾という名前の由来とされています。そして時代は流れ2020年、地政交航施設として当尾の人々に愛される「当尾の郷会館」（旧当尾小学校）において、木津川市に活動拠点を置く6人の作家にゲスト作家が加わり、10名の作家による展覧会「とおののおと」を開催します。更に様々な分野で活躍する個性豊かな4人の専門家をディレクタとして迎え入れ、展示に関して学校空間のボテンシャルを活かしたキュレーションを協働していく方針を設けました。「とおののおと」はそれぞれの作家がアートを通じた5つの二人展と、個々の作品展示によって構成された展覧会となります。同時に多発的に提示された表現の多様性、それぞれの作家が紡ぎ出す美の共演が共鳴と反発を繰り返し、混じり合い、諧和を図りながら進化を遂げます。閑静で自然かな山間部で繰り出される壮大なセッションとなるであろう「とおののおと」を見是非ご体感下さい。

とおのの郷会館委員会 代表 冬耳



伊吹拓 × 辻口芳典
絵画 詩、言葉
伊吹拓と辻口芳典、二人の共創は2020年の年明けとともにスタートする。「筆と墨のセッション」をテーマに複数回繰り広げられる「ワーフォーチャンネル」が、当尾の郷会館で開催します。二人とも作家であり、彼らの創作の原点を見出すことができよう。

小林和華子

受付

とおののおと

金本幸治 × 林真衣

彫刻

金本幸治 × 林真衣

絵画

金本幸治 × 林真衣